

# 市長日記

Vol.48

9月8日(日)  
小さな心づかい

ある地区の敬老会に招待されて訪ねると、満員の会場には、何人もの知ってる方が元気そうに表情で談笑していました。

「今年もお元氣な姿を見るのができ、嬉しいです」来賓の挨拶では、そんな気持ちを率直に伝え、再会できたことに感謝しました。

来賓祝辞が終わると、次は小学生による「おじいちゃん・おばあちゃんへの作文朗読」の時間です。

2年生のおじいちゃん夫婦は、どう園を営む農家。働く姿を見て、大きくなったらいつか二人に恩返しをしたい、と話し、4年生・6年生の二人も、温かく接してくれる祖父母に対して、尊敬と感謝の言葉を添え、近い将来二人を支えていきたい、と頼もしい発表内容でした。

三人に共通しているのは、登下校を見守ってくれている

祖父母への感謝の心といつまでも元気でいてほしいという思いやりの気持ちでした。

日々見守られ、優しさに包まれた三世代の暮らし。ここで育った子供たちの心根は、繊細で思いやりに満ちたものでした。

(それから、2日後...)

ある社会福祉法人の地鎮祭を終えての一コマ

台風15号の被害により、この施設でも停電・断水などが続いていました。式典が終了すると、スタッフからおしぼりが配られました。

「ありがとう。暑かっただけに、ヒンヤリとして気持ちいいね」

「お疲れ様でした！」と笑顔の応対です。

そこから国民宿舎つくばねに向かう車中で、メールを確認すると「停電は10時30分に復旧しました」

となると、あのおしぼりはどうやって冷やしたのかな...。冷たさに、暖かな心づかいを感じました。

文・今泉文彦

## おしらせ 図書館つうしん

### 10月の休館日

7日月・14日月・15日火  
21日月・22日火・28日月  
31日木

### 10月おはなし会の予定

こども図書館本の森  
おはなし玉手箱 5日土  
定例おはなし会 19日土

ひよこのおはなし会 10日木  
※時間はすべて午前10時30分から

### 中央公民館

おはなしフレンズ  
12日土 午後2時30分から

### こども向けイベント情報

「秋のこどもまつり」  
日時／10月26日土  
午後1時から

場所／中央図書館 読書室  
内容／午後1時から

魔女おばさんのおはなし会  
「毎日ハッピーに生きるコツ教えます！」

午後2時15分から  
シネマ@図書館「さんねん

なきもの事典」  
※事前申込不要

中央図書館Tel 24・1507

## 時の記憶 シリーズ161

### 昭和49年茨城国体 国体県民運動の取り組み

岡文化振興課(支所)  
Tel 43-1111 (内線 1323)

## 昭

和49年茨城国体は、県民すべてが参加する「みんなの国体」とし、国体県民運動を取り組みました。

「美しい環境づくり運動」、「事故をなくす運動」、「親切にあう運動」、「郷土を知る運動」、「スポーツレクリエーションに親しむ運動」などが

取り組まれ、その中から「美しい環境づくり運動」内の「花いっぱい運動」について紹介します。

石岡地区では、美しい石岡をつくる市民の会が、青年会や婦人会、こども会など各団体の協力により、市内道路

沿いに花壇を作りました。フラワーボックスは石岡地区内に360個、バラ鉢は500個置かれました。サルビアは2万本配布され、バドミントン

ン会場となった石岡小学校は特に花々で彩られました。八郷地区では、観光協会が柿岡の商店街にさつき、サルビア等の花々を植えたフラワーボックスを30個設置しています。また、林小学校の生徒と保護者で、県道沿いに10種類の花を植えています。

フラワーボックスの設置は市民の評判も良く、美しい環境を整えることで、生活環境の改善にもつながっていったのではないのでしょうか。ふるさと歴史館では、昭和49年茨城国体を紹介する企画展を開催しています。

### 昭和49年茨城国体の足跡

「スポーツの普及と充実」  
期間／8月6日(火)～  
11月4日(祝)

場所／ふるさと歴史館  
(総社1・2・10)

※月曜休館(祝日の場合は翌日)



花いっぱい運動の様子(石岡小学校)

俳句

いしおか俳句同好会

小幡 岡野 はつ子  
 廃屋の屋根を覆ひて葛匂ふ  
 高 浜 小池 さき子  
 試着して背筋を伸ばす夏帽子  
 東光台 野村 洋子  
 免許返納竹馬の友も疎遠かな  
 石岡 前川 豊美  
 笑い声風に乗せ来る小さい秋  
 東光台 森 まさえ  
 空蟬や吾に脱皮の力なく

やさど俳句会

辻 上林 愛子  
 七夕や老人なりの願ひごと  
 柴内 羽生 俊  
 夫逝くや仰ぎて熱き高燈籠  
 柿岡 吉田 進  
 へばり付く夜毎窓辺の守宮かな

短歌

石岡短歌同好会

東大橋 醍醐 正夫  
 名産の古内お茶をいただいて  
 山の民家にしばしくつろぐ  
 南台 田村 満佐  
 二億五千万キロはなれたるハ  
 ヤブサ2あやつるさまをじつ  
 と見守る

上曾 岡野 衛

終戦後飢餓を救いしサツマイ  
 モ苗十本を妻は植えたり

八郷短歌会

柿岡 小林 渥子  
 齢を積むほど風通し良くせね  
 ば二人居の垣深く刈り込む  
 月岡 菱沼 む免子  
 里芋の葉の露集め墨すりて五  
 色の短冊に願ひ事書く

俚謡

石岡俚謡会

貝地 前島 くに子  
 撫でる海風 弾けるピキニ  
 ごろり砂浜 可愛い娘  
 府中 小川野 蛙  
 月と瀬音の ランプの宿は  
 女将の笑顔も 温かい  
 石岡 石塚 芳華  
 宿の朝市 人情温く  
 烏賊もコンロで 丸くなる  
 東光台 福田 泰夫  
 稔る稲穂に 感謝を込めて  
 家族総出の 盆踊り  
 杉並 助川 浩史  
 父母も兄貴も あの世の旅路  
 故郷遠のく 盆参り  
 国府 篠原 美千代  
 帰省嬉しや 都会の風も  
 入れて弾んだ 盆踊り

下林 加藤 弥生

眺め千里の 山懐に  
 八郷温泉 満ちる客

川又 関 清志

蛩庭先 一匹二匹  
 夏の夜空を 賑わせる

府中 稲田 すみ

淡い初恋 思い出遠く  
 生まれ故郷で 見てた夢

川柳

いしおか川柳会

柿岡 平野 敬  
 サザン聞き台風の音遠ざける  
 山崎 若色 茂  
 あるのかなあ脳学者の認知症  
 東石岡 安部 正一  
 手鏡で五才若いと厚化粧

投稿作品

〈短歌〉

石岡 赤津 貞行  
 一人では生きられぬのに「家  
 に行く」施設の母は何度言っ  
 たか

山崎 荒井 幸子  
 飼い犬も猛暑に喘ぐ日々なり  
 ておやつは何より西瓜を好む

第14回 筑東史談会

文化協会だより

当会は、史跡・文化財等を視察研修することにより、地域の歴史・文化への知識と教養を深めると共に歴史の里石岡の意識高揚と仲間づくり、生きがい作りを目的としています。

年3回の全体での研修会と各人が地域の歴史を勉強し、情報を交換し合うという活動をしています。歴史を学びその時代を理解することで私達はどうか生きるのか参考になるだろうと思います。

平成30年度は重要文化財岩崎家住宅・靖国神社・国立歴史民俗博物館・航空科学

博物館等で研修してきました。また、八郷の戦国時代と題して講演会を開催し、この八郷にもあまり知られていない戦国時代があったことを知りました。

令和元年度も多くの歴史遺産を見学し、現地研修をしようと計画しています。

会員数：32名

年会費：2,000円

☎筑東史談会（原田）TEL 42-2455